



ONE STOP
Support Center
for Demonstration Tests

Kitakyushu
Action!
動かせ、未来。北九州市

令和7年2月13日
北九州市政策局

【全国初※】窓設置防犯カメラの実証実験！

”実証しやすいまち・北九州市”が社会課題解決に貢献する実証実験を支援

※ 防犯目的でのミハルモと地域BWAとの連携による実証実験

“実証しやすいまち”を掲げる北九州市は、国家戦略特区「北九州高度産業技術実証ワンストップセンター」を開設し、これまで多くの実証実験を支援してきました。そして、この度、全国初となる窓設置カメラの実証実験を支援することとなりました。

近年、市民や企業の安全・安心の確保のために、官民ともに防犯カメラの導入が進んでいますが、導入にあたっては、機器、設置工事、ネットワーク環境維持などのコストが大きいという課題も抱えています。

この社会課題を解決するため、AGC 株式会社は、窓と電源があれば誰でも手軽に設置できる窓設置カメラ「ミハルモ」を新たに開発中であり、今回、「ミハルモ」を北九州市内の施設に設置して実証実験を行います。

新ビジョンで「安らぐまち」の実現を目指す北九州市での実証実験を通じて、低コスト高パフォーマンスの防犯カメラが開発・展開されることを期待しています。

実証実験の内容について

1 実証概要

新開発の窓設置カメラ「ミハルモ」(詳細は別紙参照)の防犯カメラとしての活用を検証します。具体的には、(1)従来カメラとの性能やコストの比較 (2)設置方法や設置位置の最適解の検証 (3)必要な機能の洗い出しとアップデート (4)地域 BWA(地方自治体に振り分けられた電波)を活用することで安定した通信確保・通信料削減の検証を行う予定です。

- 2 実証事業者 AGC 株式会社
- 3 協力事業者 一般社団法人北九州ネットワークス(地域 BWA 運用会社)
- 4 実証期間 令和7年2月13日(木) ~ 令和7年3月31日(月)
- 5 実証場所 (1)小倉駅前郵便局 (2)北九州市中央卸売市場

デモンストレーションについて

- 1 日 時 令和7年2月13日(木) 市長定例会見後
- 2 場 所 本庁舎4階 記者会見室

北九州高度産業技術実証ワンストップセンターについて

社会課題の解決や、新規ビジネスの創出につなげることを目指し、企業・大学等の研究主体による市内での高度な産業技術(自動運転・小型無人機・電波の3分野)の開発を推進するため、国と共同で平成30年10月に開設したセンターで、円滑な実証実験の実施をワンストップでサポートしています。



【問い合わせ先】

政策局 政策課 担当:〔課長〕丸内、〔係長〕山口
TEL:093-582-2302

全国初 チャレンジ・実証しやすいまち 北九州で

窓設置防犯カメラ 実証実験開始!!

本日から

北九州市
国家戦略特区



ONE STOP
Support Center
for Demonstration Tests

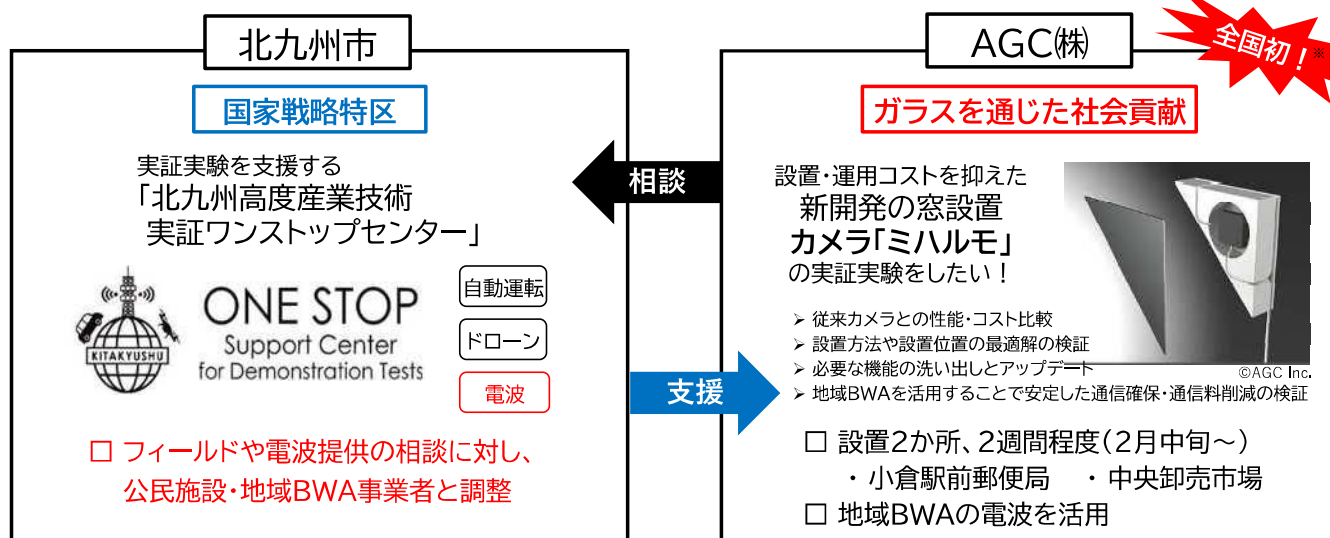
×

AGC

AGC株式会社
建築ガラスアジアカンパニー
日本事業本部



AGC実証支援の概要



先端技術を用いた「ミハルモ」の開発により、安価で手軽に設置できる防犯カメラの実現・普及

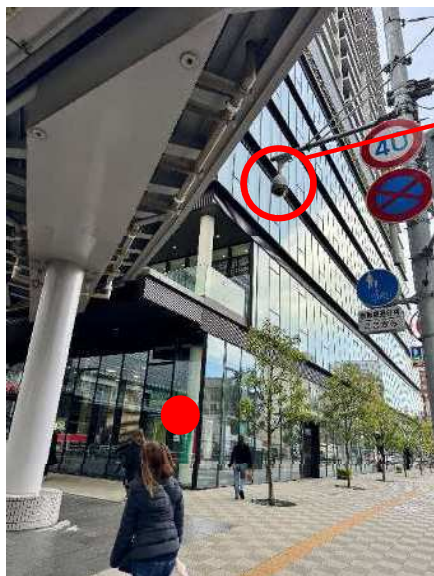
➡ 「安らぐまち」の実現 に寄与

※ 防犯目的でのミハルモと地域BWAとの連携による実証実験

実施場所

(●：設置予定箇所)

➤ 小倉駅前郵便局

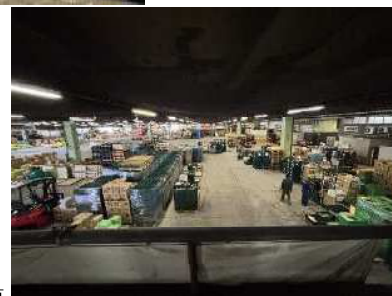


既存カメラ



「(c)Esri Japan

➤ 中央卸売市場



(撮影予定画角)
柱に既設カメラ有

窓設置カメラ「ミハルモ」の特徴

※ 関連する複数の特許出願中



反射による映り込み

既存の
防犯カメラ



窓設置
カメラ



①窓越し高画質撮影 + ②安価・簡単設置

窓設置カメラ「ミハルモ」のコンセプト(開発中)

“誰でも簡単に”ガラスの室内面に“屋外映像の取得が可能なカメラ”を設置できる



その他の特徴 ガラスに映る反射映像を軽減し、くっきりとした映像が取れる！

©AGC Inc.

窓設置のためのAGC社の独自技術

※関連する複数の特許出願中

カメラの色、形状や材質等の設計
設計熱割れシミュレーションの結果



窓設置に最適な独自の設計を確立



特徴

- 温度不均衡による窓ガラスの「熱割れ」の影響を受けない
- 特に夜間(カメラ設置側が明るく、撮影対象側が暗い場合の)撮影に効果を発揮
- カーテンやブラインドの影響を受けない



熱割れとは・・・



1枚のガラスの中に生じる熱の不均衡によりガラスが割れてしまうこと。
一般的なカメラでは、設置した箇所の温度が上昇して熱割れが発生する場合がある。



©AGC Inc.